



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク 会報第34号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2007年11月15日号, No. 34

第34号の目次

- 1、8都県市合同防災訓練報告
(2007.9.2) …主幹・矢代
- 2、津久井赤十字病院防災訓練報告
(2007.9.17) …矢代幸雄
- 3、ジュニアサバイバルキャンプ支援報告
(2007.8.4) …手塚則生
- 4、小千谷ツーリング報告
(2007.9.22-23) …矢代幸雄
- 5、編集後記

8都県市合同防災訓練報告

2007.9.2



去る9月2日(日)もう恒例に成った8都県市合同防災訓練に参加しました。毎年神奈川県と県内各市町村の共催で行われる訓練には神奈川RBの年間行事にも組み込まれ、毎年物資や情報の伝達、無線通信訓練などを行っているが最近では社会福祉協議会の方々など関係者の搬送なども取り入れ始めています。今回、伊勢原市で行われた訓練にも、通例となった物資搬送訓練のほか、ケアマネージャーのタンデム搬送を受け持つこととなりました。

今回は矢代表のタンデム搬送雑感という形で防災訓練の報告として行きます。

8都県市合同防災訓練報告

矢代幸雄

ケアマネージャーのタンデム搬送を担当してから今年で3回目となる。



幸い今回後席に乗っていただいた方々は、まったく自然に乗っていただいております。「うわあ、後ろに人が乗っている」と言うような感覚はまったくくない。ある意味タンデムセンスの良い人たちがばかりでした。後日聞いた話ではバイクに乗りたくなりました。とか、タンデムって気持ちのいいもんですね。また機会がありましたらお願いします。などと言われると嬉しいものです。また、本番に備えて毎回予行でタンデム訓練に参加していただいているからこそだとも思います。

一時期より講習会でタンデムスラロームなどをやる機会が減っているようですがまた復活してほしいものですね。いつの間にかやらなくなってしまったようですがタンデム講習中に転倒など事故があったのでしょうか？

私の参加させていただいていた講習会ではタンデムによる転倒はなかったように思います。

私の参加させていただいていた講習会ではタンデムによる転倒はなかったように思います。

私の参加させていただいていた講習会ではタンデムによる転倒はなかったように思います。

津久井赤十字病院防災訓練報告

2007.9.17

矢代 幸雄



今回は昨年より早い時期に開催連絡を赤十字病院・榎本様よりいただきましたが私が長期外出していた時でしたので返事が遅れて気をもませてしまつて申し訳ありません。

せんでした。

さて、07年度津久井赤十字病院防災訓練は、山田さん、夏賀さん、永野貴さん、伊藤さん、沢田さん、矢代の6名が参加させていただきました。

昨年はずで入院していて被災する役でしたが、今年は被災した後、病院に搬送される役です。訓練に参加する医師や看護師の方々は緊張するでしょうけど、傷病者役も結構ドキドキです。

怪我のサンプルも擦り傷程度のものから腸が脱出しているものもあります。平常時とは異なる有事の際のパニック状態の中での診断や治療は非常に難しいと思います。しかし、シミュレーションの体験があるとなんて大きな違いがあるでしょう。私は風邪を引いただけの設定でしたが、震災のショ



ックから気分が悪くなったり、ひじをぶつけたのを隠したまま、小指の痺れがとまらないフリを追加演技したりしました……。演技とは言えこれだけ嘘をつくともわりも大騒ぎになってくるため

に私の心拍数も上がり血圧は通常上は110～120位なのに実際に170もあったそうです。

そんな状況ですが院内に搬送されると気分的に落ち着きますね。以前外出中に体調を崩しやっとも思いで病院にたどり着いたら、その場で多少回復したことがあります。



今回は訓練なので設定はありませんが一番つらいのはリアージで黒タッグを貼らねばならないこと。また、怪我の程度により治療に順番をつけねばならないことも。訓練では想定しきれない壮絶な修羅場に遭遇することもあるでしょう。そんな皆さんのお手伝いが少しでも出来たらと思います。

神奈川IRBとしては普段の活動拠点が横浜駅前の県民活動センターと海老名市市民活動センターであり、有事の際にはその2拠点のいずれかに集結することになっていますが、私は実際には津久井赤十字病院に行って支援活動を行う事になるだろうと他のメンバーに伝えてあります。その時がないことを祈るばかりです

今回アイデア品を発見しました。石川副部長が被っていた帽子にクリップで留めるハンディサイズの無線アンテナです。腰につけたハンディ無線機をアンテナケーブルを延長して高い位置の帽子に固定する方法です。

参考にさせていただいて神奈川IRBでもまねしてみようと思います。

ジュニアサバイバルキャンプ支援報告

2007.8.4

手塚 則生

8/4(土)昨年に引き続き、I Love つつき主催のジュニアサバイバルキャンプ

に参加しました。今年も自宅から20分ほどの武蔵工業大学横浜キャンパスへ着くと、2台のトランポと1台の軽ワゴン車により一目見て「神奈川IRBだな」と分かる基地が作られていました。最近ではミーティングも含めて殆ど活動に参加できない僕ですが、色々な場で我々の「基地」が設置されているのを見るといつも心強い物を感じます。このイベントは夏休みの子供たちが対象の防災キャンプで、神奈川IRBがサポートするのは彼らの食事の材料調達と、自分達の住む街を防災と言う観点から見ようと言う「まち歩き」の時に、休憩ポイントでの給水活動などを行う事です。今年の街歩きはお子さん達の体調にも配慮して夕方になった為、まず我々バイク隊は食料調達に出発しました。

お買い物1件目はハンディキャップのある方々で野菜作りをされているハーベストつつきへ。大通りに出た途端に港北ニュータウン週末名物の渋滞にはまり、一同ヘルメットの中でひと汗かきました。このハーベストつつきは



地元の人でも判りにくい場所にあるので到着までに少々回り道をしました。新鮮な野菜やお漬物を一旦持ち帰った後、2件目・3件目に向けて再び出

発。先ほどの渋滞を迂回しようと別ルートを選ぶもやはり渋滞。来年も同様の活動をするのならば、地元民を自負する僕としては事前に回避ルートを調べておくべきだと思いました。お買い物2件目は港北NTを縦断して山崎パンへ。警備詰所にて既に御準備頂いていたパンを購入。さて帰途へ…と言う所で3件目の到着予定時刻が迫っている事を知り、基地局と無線で相談をし、そのまま3件目の港北ミナモヘ向かう事になりました。しかしここで「誰もミナモを知らない」と言う事実が発覚。実はこのミナモと言うショッピングセンターは数日前に開業したばかりだったので。とりえず「センター南らしい」と言う情報を元に同駅前まで行き、皆で見回してみますが分からない。そこで近所に住む友人に電話で聞き、ようやく場所が判明し急行。この中のグルメシティでバナナやウインナーを調達。これで食料調達は全て終了。



簡単に行かない部分もあった為、達成感に満たされました。その後は夕方になってから街歩きのサポートです。僕と伊藤さんは「赤チーム」の休憩所となる公園へ飲み物運びました。この公園の場所はすぐに判り、二人で呑気にセミの抜け殻を探しながら子供たちの到着を待っていると、大学生やご父兄の方々の付き添いと共にやって

来ました。公園入口で引率の大学生の方が「ここにも消火栓の標識がありません」と呼び掛ける声にハッ！と

しました。そこは僕らがバイクを停めた場所です。道交法第1章第9節第45条4「消火栓、指定消防水利の標識が設けられている位置又は消防用防火水槽の吸水口若しくは吸管投入孔から五メートル以内の部分」は駐車禁止です。子供

